

大学院都市持続再生学コース 東大まちづくり大学院 シラバス

講義名	超高齢社会のまちづくり（都市空間政策特論第4）
担当教員名	後藤純
単位数(コマ数)	1単位(2コマ×4)
講義曜日・時限	火曜 6限・7限
講義目的	2025年に、団塊世代（1947年～1949年生）が後期高齢者になり、人口の2割が75歳以上（後期高齢者）になる。2035年には、85歳以上人口が1000万人を超える。人類史上初めての出来事であり、あと10年ほどで社会システムは大変革を求められる。欧米だけでなく、BRICsなども、2035年にかけて急速に高齢化していく。持続可能な社会において、超高齢社会への対応は見逃せない課題であるが、一方、都市計画・まちづくりにおいては、「医療福祉の問題」としてしか、見なされていない。 本講義では、復興まちづくり、郊外住宅地再生、中心市街地活性化など、都市計画の焦眉の課題を取り上げて、コミュニティの物的・社会的な生活環境のプランニング方法について、具体的なケースをもとに、分野横断的に講義を行う。
成績評価方法	講義への参加状況とレポートによる。

No.	講義日程	講義時限	講義者	講義形式	講義タイトル
1	4月30日	6限	後藤 純	ハイブリッド	ガイドランス・現代的な高齢者のニーズと地域包括ケアシステム（141教室）
2	4月30日	7限	後藤 純	ハイブリッド	超高齢社会のまちづくりモデル（141教室）
3	5月7日	6限	似内 遼一	ハイブリッド	地域コミュニティを基点とした立体的復興まちづくり（141教室）
4	5月7日	7限	堀田 直揮	ハイブリッド	ごちゃまぜの復興まちづくり -シェア金沢、輪島カブーレ（ZOOM）
5	5月14日	6限	小紫 雅史	ハイブリッド	奈良県生駒市における「まちの駅」の取り組み -複合型コミュニティ-（141教室）
6	5月14日	7限	藤村 龍至	ハイブリッド	高齢化する郊外住宅地の再生について（141教室）
7	5月21日	6限	永森 克志	ハイブリッド	地域医療とまちづくり（141教室）
8	5月21日	7限	久保 真人	ハイブリッド	地域包括ケアシステムと新しいコミュニティ施策（141教室）
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					